

【C年】

顕現後第二主日

全能の神よ、あなたは永遠のみ言葉であるみ子の受肉のうち
に、まことの道を現されました。どうかわたしたちを導き、
全人類の救いのもとである主に、すべてをゆだねさせてくだ
さい。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配してお
られる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第六二章一節から」

1 シオンのために、わたしは決して口を閉ざさず
エルサレムのために、わたしは決して黙さない。

彼女の正しさが光と輝き出で
彼女の救いが松明のように燃え上がるまで。

2 諸国の民はあなたの正しさを見
王はすべて、あなたの栄光を仰ぐ。
主の口が定めた新しい名をもって

あなたは呼ばれるであろう。

3 あなたは主の御手の中で輝かしい冠となり
あなたの神の御手の中で王冠となる。

4 あなたは再び「捨てられた女」と呼ばれることなく
あなたの土地は再び「荒廃」と呼ばれることはない。

あなたは「望まれるもの」と呼ばれ

あなたの土地は「夫を持つもの」と呼ばれる。

主があなたを望まれ

あなたの土地は夫を得るからである。

5 若者がおとめをめとるように
あなたが再び建される方があなたをめとり

花婿が花嫁を喜びとするように

あなたの神はあなたを喜びとされる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第三六編 五ノ十節

5 主よ、あなたの慈しみは天に広がり＝ その誠は雲に
まで及ぶ

6 あなたの正しさはそびえ立つ山、その審きは深い＝ 主

よ、あなたは人と獣を救われる

7 神よ、あなたの慈しみは計り知れず＝ み翼の陰に人

びとは逃れる

8 あなたの家の豊かさに飽かされ＝ 喜びの川から水を

飲む

9 命の泉はあなたのもとにあり＝ あなたの光のうち

にわたしたちは光を見る

10 あなたを知る者に慈しみを＝ 心の正しい人に豊かな

恵みを注いでください

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙I第十二章一

節から」

1 兄弟たち、霊的な賜物については、次のことはぜひ知
つておいてほしい。2 あなたがたがまだ異教徒だったころ、

誘われるままに、ものの言えない偶像のもとに連れて行かれ
たことを覚えておいてください。3 ここであなたがたに言っ
ておきたい。神の霊によつて語る人は、だれも「イエスは神
から見捨てられよ」とは言わないし、また、聖霊によらなけ
れば、だれも「イエスは主である」とは言えないのです。

4 賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるの
は同じ霊です。5 務めにはいろいろありますが、それをお与
えになるのは同じ主です。6 働きにはいろいろありますが、
すべての場合にすべてのことをなさるのと同じ神です。7
一人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるた
めです。8 ある人には“霊”によつて知恵の言葉、ある人
には同じ“霊”によつて知識の言葉が与えられ、9 ある人
にはその同じ“霊”によつて信仰、ある人にはこの唯一の“霊
”によつて病気をいやす力、10 ある人には奇跡を行う力、
ある人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人
には種々の異言を語る力、ある人には異言を解釈する力
が与えられています。11 これらすべてのことは、同じ唯一
の“霊”の働きであつて“霊”は望むままに、それを一人一人
に分け与えてくださるのです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第二章一節以下に記された主

イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があつて、イエスの母がそこにいた。2 イエスも、その弟子たちも婚礼に招かれた。3 ぶどう酒が足りなくなつたので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりまし」と言つた。4 イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」5 しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言つた。6 そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあつた。いずれも二ないし三メトレテス入りのものである。7 イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。8 イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持つて行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行つた。9 世話役はぶどう酒に変わった水の味見をし

た。このぶどう酒がどこから来たのか、水をくんだ召し使いたちは知つていたが、世話役は知らなかつたので、花婿を呼んで、10 言つた。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわつたところに劣つたものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取つて置かれました。」11 イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行つて、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」